

2023（令和5）年度活動計画について

（1）方針

- ① 修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究しより良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ② 連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③ 関係機関・団体と連携・協力を積極的に進め、適切な情報収集と発信等を適宜行い、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

（2）活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行の展開を目指す。

（3）活動の大綱

① 会議等の日程

	会議名	予定議題	開催日（案）	時間	会場（案）
総会・運営協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定 調査研究内容の検討	6月2日（金）	13:00 ～ 16:00	奈良まほろば館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月4日（水）		九段南ビル会議室
	第3回	輸送計画策定の途中状況等を報告 JR各社との意見交換会を開催	11月1日（水）		九段南ビル会議室
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月14日（水）		九段南ビル会議室
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日（火）		奈良まほろば館
全修協	第40回全国修学旅行研究大会 (修学旅行の調査研究発表・シンポジウム)		7月25日（火）	13:30 ～ 16:30	学士会館
	三地区（関東・東海・近畿）修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		2024（令和6）年 1月17日（水）	14:00 ～ 16:30	学士会館

② 会議出席者

- ・総会・運営協議会：会長、副会長、運営委員（各県2名、さいたま市1名、千葉市1名）
（定数17名）
- ・役員代表者会：各県1名、さいたま市1名、千葉市1名
（定数7名）

③ 県別の役割分担（案）〔2023（令和5）年度～2029（令和11）年度〕

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
会長選出県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県
運営委員長	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県
〃副委員長	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県	栃木県

※会長選出県は当年度の幹事県を務める

(4) 計画輸送について

① 2023（令和5）年度計画輸送の実施

2023（令和5）年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）

举行日時：2023年5月9日（火）午前7時25分～7時35分

関西Aコース：7時51分東京発「のぞみ号」乗車校

土浦市立土浦第一中、常総市立水海道中、宇都宮市立星が丘中、真岡市立物部中

小山市立小山中、千葉市立白井中、習志野市立第五中（全7校-1,073名）

※関修委を代表しての挨拶は、関修委役員の校長先生（千葉県）にお願いした。

② 計画輸送の利用校拡大

2023（令和5）年度も引き続き、計画輸送への理解を得るため、関修委PR用リーフレット等をもとに各学校への啓発に努める。

③ 2025（令和7）年度修学旅行の計画輸送策定

計画輸送（連合体）の理念、趣旨等の理解に一層努め、各校が協力し合い全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるように努める。

また、実施時期の平準化に最大限取り組んでいく。

- a 関西Aコースに希望が集中する傾向だが、東京近郊の学校には、関西Cコースの選択も有ることを周知する。
- b 関西Bコースの利用促進の依頼を行う。また、コースの利点をより増すために、JRに対して、30分早い出発と30分遅い帰着を働きかけていく。
- c 北海道・東北（山形・秋田）・上越・北陸方面の新幹線利用の拡大を図る。
- d 利用申込みの段階で、東京駅までの継走列車の利用を明確化する。
- e 広島関西Dコースの利便性を向上させるため、JRに対し運行計画の改善を働きかけていく。
- f 学校に対して、申込書への記入に際して、乗降駅、継走の利用予定、申込み人数等の正確で完全な記入を働きかける。

④ 輸送計画策定の日程・手順

6月	2日	総会・研究協議会	2025年度輸送計画の要項を決定
6月	中下旬		輸送申込書等を配付（各県）
7月	14日	各県申込締切	2024年度輸送申込締切（各県で取り纏め）
7月	24日	申込原本の集約	申込書原本送付（各県⇒関修委事務局）
8月	31日	申込データの集約	申込集計表（データ）送付（各県⇒関修委事務局）
9月	下旬	計画策定開始	事務局にて割付原案の作成開始
10月	4日	第2回研究協議会	2025年度輸送計画申込み状況等を報告
10月	中下旬	各県チェック	割付原案による抜け落ちチェック（各県）
11月	1日	第3回研究協議会	2025年度輸送計画策定の途中状況を報告
11月	24日	東京都、神奈川県と同日	2025年度輸送計画発表
2月	9日	JRへの団体申込締切	JR「団体旅行申込書」を旅行会社経由で提出

(5) 調査研究活動について

① 調査研究の継続と充実

- a 実施状況調査：修学旅行実施の基本調査と、テーマに沿った調査研究と発表を行う。
- b 研究発表会：関修委独自での研究発表会は開催しないが、全修協主催の「修学旅行研究大会」への積極的な参加をお願いする。
- c 実践事例発表：第4回の運営協議会の席上で、修学旅行1例の事例発表を行う。(提案)

② 現地研修会の実施

修学旅行の充実のために、先生方の現地視察及び研修を計画、実施する。

<研修の方面候補>

- a 東北方面修学旅行現地研修会：東北の歴史と文化、自然、体験学習、震災学習、世界遺産等の視察、体験学習及び宿泊施設等の視察
- b 北陸3県修学旅行現地研修会：富山県、石川県、福井県における、それぞれの歴史と文化、伝統、体験学習及び宿泊施設等の視察
- c 北海道方面修学旅行現地研修会：北海道の歴史と文化、SDGs等を始めとする教育旅行プログラムの提案と宿泊施設等の視察

<日程案>

現時点で未定だが、7月下旬～8月中下旬の土・日・月を含めた日程で検討する。

(6) 陳情・要請活動について

① 2024(令和6)年度分修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情を行う

◎国庫補助金の増額陳情額(案) (単価・円)

項目	学校種別	現行の補助金額	2024年度要望額	増額分	
修学旅行	中学校	60,910	65,000	4,090	
	小学校	22,690	30,000	7,310	
校外活動	中学校	宿泊あり	6,100	10,000	3,900
		宿泊なし	2,270	5,000	2,730
	小学校	宿泊あり	3,620	10,000	9,110
		宿泊なし	1,570	5,000	3,430

※2023(令和5)年度の陳情は、7月下旬を予定している。

② 計画輸送に関する改善点を要望していく

重点要望事項については、継続的にJR各社に対し要望していく。

<重点要望事項>

- a 継走列車の東京駅直接乗り入れ及び継走特急列車の割引適用
- b 関西Cコースの出発時間の繰下げ(30分程度)
- c 関西Bコースの出発時間の繰上げ(30分程度)と東京帰着時間の繰下げ(30分程度)、これに接続する継走列車の運行
- d 感染症や不測の事態(自然災害や事故)等発生時における迅速・適切な対応と情報提供

<その他の要望事項>

重点要望事項に加えて、新たに要望する事項についても整理し、JR各社へ申入れる。

- a 要望事項に関するアンケートを配布し、回答の中から抽出した要望事項
- b その他、特に要望する事項